

旬の^{けん}見験^{けん}楽学^{がく}便^{がく}

仙台・宮城ミュージアム情報局
SMMA参加館の学芸員をはじめ現場スタッフによる旬のおきの情報や、地域のミュージアムならではの旬な情報をお伝えします。地元のみならずもちろん、旅行で訪れた方々にもおおいに役立つ、楽しみながら発見や体験をしていただけるウェブサイトです。
<http://www.smma.jp/>

2015年3月14日(土)～18日(水)に開催される国連防災世界会議。SMMA(仙台・宮城ミュージアムアライアンス)のさまざまな取り組みを紹介します。



特集 東日本大震災とミュージアム

レポート ミュージアムユニバース ～すてき・ふしぎ・おもしろい～

お知らせ SMMA参加館イベントカレンダー(2015年1月～5月)

Hello! センダイミュージアム

仙台の文化は、外国の方にはどのように映るのでしょうか？

仙台の文化は、外国の方にはどのように映るのでしょうか？
仙台で暮らす留学生・CIR(国際交流員)*に、街や人、ミュージアムの印象を聞いてみました。すると、私たち日本人にも新鮮な発見がたくさん。彼らの意見から、外国人と交流するコツも見えてきます。

*CIR(国際交流員)…Coordinator of International Relationsの略称で、外国人向け市政情報の翻訳や海外からの訪問団対応、イベント等での通訳、異文化理解講座や外国語講座での講師など、国際交流のために幅広い活動を行っています。

わたしたちの センダイ・ライフ

—皆さんは仙台に来て何年目ですか？仙台に来たきっかけは？

モニカ 仙台は3年目ですが、その前は愛媛県で3年間ALTをしていました。愛媛から一旦アメリカに帰国し、仙台にはCIRとして来たんです。

アリーセ 私は仙台に住み始めて2年半ほどです。その前は大阪の大学で研究員をしていました。仙台の言葉には、もうだいぶ慣れましたよ。大学の授業でおばあさんたちと接したりするので、少しですけど仙台弁もわかるようになりました。

デイヴィッド 私は仙台に来て1年半くらい経ちましたが、その前は神戸の大学にいたので、合わせて2年弱日本に住んでいます。

—日本の生活の中で何か気になることはありますか？

モニカ アパートの部屋が狭いこと。私は震災後に仙台に来て「地震のときは机の下に隠れたほうがいいよ」とみんなにアドバイスを受けた。でも机を持っていなかったんです。それで避難用に机を買ったら、部屋がより狭くなってしまって身動きがとれない！



「仙台市歴史民俗資料館の館内ツアーは驚きの連続。ツアーへの参加はおすすめですよ！」モニカ

一同笑

デイヴィッド 私と同じ部屋が狭いんだけど、アパートにいる時間が短いからとくに不自由はしていないかな。

アリーセ 私は夫と子どもと3人で、昭和風の古いアパートに住んでいます。3人とも、その雰囲気ですごく気に入っていますよ。娘も、産まれたときから畳の部屋にいるせいか畳を見ると喜びます。地震のときに避難できるテーブルもありますよ(笑)。

ミュージアムの
身近な雰囲気が
魅力！

仙台のミュージアムは “あたたかい”

—仙台のミュージアムで、何か気になったことはありますか？「母国のミュージアムと比べてこんな違いがある」などは？

アリーセ 仙台で「ミュージアムは楽しい場所だ」ということに気づきました。説明がわかりやすいし、なにより体験が多くて楽しいんですよ。たとえば博物館でも『さわってみて』という



Hello! センダイミュージアム

モニカ
(アメリカ出身)

デイヴィッド
(イギリス出身)

アリーセ
(ラトビア出身)

コーナーがあったり、ビデオでの解説も付いていたり。興味のないジャンルのものでも理解ができます。ラトビアの博物館はもっとクラシックな感じ。だから体験できるものが多いことは魅力的だと感じました。ただ、簡単にでもいいので英語の説明がもっと欲しいです。

モニカ 私も、英語の表記がもう少し欲しいなと感じました。だけど、それ以外は日本のミュージアムはいいところがたくさん。まず、わからない人の気持ちを考えているなと感じます。細かいところまで気を配っていて、なんというか…あたたかい気持ちになりますね！アメリカのミュージアムは、アカデミックな雰囲気や堅さがあります。でも日本のミュージアムは、わからない人を受け入れてくれる親しみやすさがあります。かわいいキャラクターなどもありますね。

デイヴィッド 私が1つ驚いたのは、日本のミュージアムは有料なこと。ロンドンの博物館は無料なので、お金を払わなければいけないことにびっくりしました。でも、素晴らしいと思ったところもたくさんあります。それは、昔のものをきちんと守っているところ。仙台市博物館の「半分しかない政宗像」*とか、仙台市縄文の森広場にある「竪穴式住居」(復元)とか、昔のものを見ることができるのはおもしろい。

アリーセ そうそう！昔と今のつながりを感じられる。私がおもしろいと思ったのは、ミュージアムのスタッフが手作りしたものの展示。「現在の人が昔の技術でこれを作りました」とあって、今を生きても昔と同じものを作れるということに感激しました。

モニカ 地底の森ミュージアムで、鹿の角を使って石を叩いて「槍先」を作ったことがあります。そのときにスタッフの方に「これは昔の人と同じテクニックを使って作ったので、落さないように大切に保管してください。うっかり外で落とすと、昔の石器だと思われてしまうので」と言われ、興奮しました。

アリーセ 完成品には、それぞれ自分の名前を書きましたよね！

モニカ 仙台市歴史民俗資料館のツアーも素晴らしかったです。徴兵された兵士たちやその家族の気持ちを解説していたり、終戦直後の黒塗教科書も展示してあったり。



デイヴィッド 建物の一部が明治時代からそのまま残っていることも素晴らしいと思いました。展示については、説明をあまり長く書かずに実物をしっかり見せていることも印象に残りました。

アリーセ 私はせんだいメディアテークの「考えるテーブル」の机や椅子が全て黒板になっていることに興奮しました。すべての面にメモができるなんておもしろい！

モニカ チューブから出ずにツアーができるのもおもしろかったですよね。

デイヴィッド チューブがガラスだから各階で行われているイベントが見えて、特別なプロジェクトも身近に感じられるのが新鮮でした。あとは、仙台市天文台もおもしろい。望遠鏡が非常に大きいし、

屋間の快晴の天気でも星が見られて感動しました。

モニカ その巨大な望遠鏡をタッチスクリーンで動かせるのもおもしろかった！スクリーン上の月をタッチしたら月の角に望遠鏡が動き、その動きに合わせて宇宙っぽい音楽が流れる。日本らしい演出だなと思いましたね。



「昔のテクニックを使って石器づくり体験ができたのには興奮した！」アリーセ

コミュニケーションは 日本語でもOK!

—仙台に住む私たち日本人が外国の方々をお迎えするときに、何かアドバイスはありますか？

アリーセ 構えずに接してほしいですね。外国人がみんな英語を上手に話せるわけではないし、外国

体験が多く
「楽しめる」のが
素晴らしい!



昔のままの
姿も見られて
おもしろい!



「体験が多いし、作ったものを持って帰れるのも思い出になってうれしい！」デイヴィッド



人も日本人に完璧な英語を求めているわけではないはず。だから、ジェスチャーや、簡単な日本語、絵を描いての説明でも充分。英語のレベルを心配する必要はありませんよ。大切なのは「わかってあげること」かなと。

デイヴィッド 私もアリーセさんと同じ意見です。以前、道に迷ったときに、近くにいた日本人に簡単な日本語で尋ねたのですが「英語できない英語できない！」と逃げられてしまったことがありました。日本語で話しかけても、顔が外国人だから英語を話していると思われたのかもしれない。でも、そういう反応だと悲しくなるし「私の日本語は間違っているのかな」と自信がなくなってしまう。英語で返さなくてもいいので、コミュニケーションをとれたら外国の方々ははともうれしいと思いますよ。

モニカ 私は、仙台の方々にもぜひミュージアムを見てほしいです。自分の街をもっと知ったら仙台での暮らしをより楽しめると思います。外国からの観光客にも、仙台を誇らしく説明できると嬉しいです。

*戦前、仙台城本丸にあった伊達政宗騎馬像の胸像部分。戦時中、武器・弾薬などをつくるために伊達政宗騎馬像も供出されましたが、仙台の礎を築いた政宗公のお顔は守られ、現在も仙台市博物館の館庭にて「伊達政宗胸像」として見ることができます。

ミュージアム紹介パンフレット 「The Sendai Museum Experience」

作成中

デイヴィッド、モニカ、アリーセの3人が中心となって、SMMA参加館を英語で紹介するパンフレットを作成しています。3人が各ミュージアムの視察に行き、気付いた点やオススメしたい点を丁寧に解説。SMMA参加館を中心に配布中で、3月には2号目も完成予定！



発行/仙台・宮城ミュージアムアライアンス
「平成26年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」
★SMMA参加館を中心に、市民センター、図書館など仙台市内各所で配布予定。

東日本大震災とミュージアム

博物館や美術館ばかりでなく、水族館や動物園など、ミュージアムと呼ばれる施設にはたくさんの種類があります。東日本大震災のときには、それらのミュージアムもさまざまな被害にさらされました。もちろん、人の命に直接結びつくことはないミュージアム。震災の時にそこで何があったかについて、ことさらに言い立てるようなことはないのかもしれませんが。しかしだからこそ、地域のミュージアムがどんな困難に直面し、どんなことの役に立ったのか、あるいは立たなかったのか、それをしっかりと未来に伝えることは、これからのミュージアムのあり方を考える上でも重要なことのはずです。

S MMAでは、2012年、被災地のミュージアムの被災から再開に至る経過について調査を行いました。そのレポートは、ウェブサイト (<http://www.smma.jp/survey/>) に掲載されています。また、来る3月の国連防災世界会議の期間中は、せんだいメディアテークの2階で、「東日本大震災とミュージアム」と題するパネル展示も予定しています。ライフラインが切断された館で、文化財や生き物たちを守るため、時間との闘いがあったこと、放射能汚染の拡がり懸念されるなかで、隣県でも収蔵品の避難の方法が議論されていたこと、津波で流出した文化財の救出や地域の文化財の被害調査などに、全国の学芸員や専門家たちが集まって取り組んだこと、館の再開後、大規模な展示会が復興支援の名の下に次々と開催される一方で、再開はおろか施設の復旧すらままならない館もあったことなど、忘れてはいけないことは少なくありません。

東日本大震災は、私たちに想定外のことが起こること、人間の知っていることはまだまだ世界のほんの一部にすぎないことを見せつけました。しかし多くのミュージアムは、既存の知識や価値観を要領よく伝えることを優先するあまり、人々が未知への問いかけを続ける場としては十分機能できていなかったの

ではないかとも思います。権威に頼ることなく、ひとりひとりが常に問いかけ、他者の声を聞き、語り合い、想像することこそ、私たちが震災から学んだ最も大切な教訓であるとしたら、ミュージアムにもこれまでとは違う新しい役割や機能が求められていく可能性があるかもしれません。

仙台・宮城ミュージアムアライアンス (S MMA) 運営委員長 佐藤 泰



被災した石ノ森萬画館(石巻市)の入り口に仮設されたベンチには、訪れた人の応援メッセージがびっしり/ 2012年5月



リアス・アーク美術館(気仙沼市)での被災物の展示

パネル展示「東日本大震災とミュージアム」

2015年3月14日(土)～18日(水) 10:00～20:00
せんだいメディアテーク2階

展示に関しては裏面参照



子どもも大人も楽しく学んだ2日間

「ミュージアムユニバーサス～すてき・ふしぎ・おもしろい～」

12月19日(金)と20日(土)、S MMA参加館がせんだいメディアテークに集まりました。各館の専門家によるトークや体験、展示など、ミュージアムがより身近に感じられる充実の内容。学芸員や各館のスタッフと気軽にふれあうこともでき、両日とも幅広い世代でにぎわいを見せました。来場者数は2日間で合計1,700名余り。トークイベントでは、学芸員が自らの仕事内容を紹介したり、ミュージアムを拠点にボランティアなどを行っている大学生が活動を紹介したりと、このイベントならではのプログラムも。ミュージアムに関心がある方も、まだなじみが無かった方も、思い思いの“学びの時間”を過ごしていました。また、普段は各々の場所で活動しているミュージアムのスタッフにとっても、こうして一堂に会することで、互いに刺激を受け合い、また新たなつながりが生まれていたようです。



▲仙台市博物館のブースでは伊達政宗に変身する一幕も。



▲仙台市八木山動物公園「手づくりのオリジナルクリスマスカードをつくろう！」



▲東北大学総合学術博物館「フィールド顕微鏡で見る小さな世界」



▲仙台市縄文の森広場「つくってみよう縄文の技・つかってみよう縄文の知恵」

SMMA参加館の今後の情報をチェックしよう!

3月14日(土)～18日(水)に開催される国連防災世界会議に併せた特別展示にもぜひ足をお運びください。

1月から開催中

- ～2015年4/12(日) **特別展「餅・モチ～ハレの食～」**
仙台市歴史民俗資料館
- 10(土)～3/1(日) **小企画展「感覚をはかる」**
スリーエム仙台市科学館
- 20(火)～3/15(日) **企画展「地底の森ミュージアム2014～森と人と生きもの～」**
地底の森ミュージアム
- 20(火)～3/15(日) **「ミュージアムフォトコンテスト
～氷河期の森・縄文の森の風景～」作品展**
地底の森ミュージアム・仙台市縄文の森広場
- 23(金)～3/22(日) **ミニ企画展「縄文人と動物のかかわり」**
仙台市縄文の森広場
- 31(土)～2/1(日) **天文台まつり**
仙台市天文台
- 31(土)～3/22(日) **特別展「わが愛憎の画家たち―針生一郎と戦後美術」**
宮城県美術館

2月

- 7(土) **まちなか美術講座** ●東北工科大学一番町ロビー●13:00～
宮城県美術館
- 7(土)、14(土)、21(土) **縄文ふゆのコンサート**
仙台市縄文の森広場
- 7(土)～4/19(日) **企画展「井上ひさし資料特集展4」**
仙台文学館
- 8(日)、15(日) **動物公園うらがわたんけん隊** ●13:30～14:00 (整理券配布13:15)
仙台市八木山動物公園 ●定員 各日20名(先着)
- 8(日)、22(日) **たのしい地底の森教室「富沢発掘写真会」(2/8)・
「ギャラリートーク」(2/22)** ●13:30～14:30
地底の森ミュージアム
- 14(土) **楽しい化学実験室(要申込)** ●小学3年生以上
スリーエム仙台市科学館 ●2月3日〆切 ●定員30名
- 15(日) **大人の科学教室「クラゲの秘密」(要申込)** ●中学生以上
スリーエム仙台市科学館 ●2月3日〆切 ●定員20名程度
- 20(金)～3/18(水) **レコーディング イン プログレス
-3がつ11にちをわすれないためにセンター活動報告展-**
せんだいメディアテーク ●2月26日(木)は休み

せんだいメディアテークは、東日本大震災による甚大な影響に対し、市民・専門家・スタッフが震災の復旧・復興の過程を記録・発信するためのプラットフォームとして「3がつ11にちをわすれないためにセンター」を開設しました。震災から5年目を迎えるこの機会に、わすれん!に寄せられた記録群から垣間見ることができる東日本大震災の様相の断片を紹介します。

- 21(土) **大人の動物園セミナー(要申込)** ●13:00～15:00●中学生以上
仙台市八木山動物公園 ●先着30名●電話、ファックスまたはEメールで受付
- 21(土)～22(日) **としょかん・メディアテークフェスティバル**
せんだいメディアテーク

3月

- 1(日) **ワークショップ「太陽の通り道をたどろう!～アナレンマのふしぎ～」**
仙台市天文台 ●晴天時に実施、悪天候時は翌週以降へ延期
- 1(日)～6(金) **せんだいデザインリーグ2015卒業設計日本一決定戦**
せんだいメディアテーク
- 1(日)、8(日)、15(日)、22(日) **美術館講座
「戦後の美術と批評をめぐって」(要申込)** ●定員60名
宮城県美術館 ●13:30～
- 1(日)～31(火) **被災地関連展示「若林区六郷・七郷の暮らし」**
仙台市歴史民俗資料館

常設展示の一部で仙台市内のうち東日本大震災で大きな被害を受けた地域のかつての様子を写真パネルで紹介し、地域で使われていた農具などを展示します。

3月

- 7(土) **大人の動物園セミナー(要申込)** ●13:00～15:00●中学生以上
仙台市八木山動物公園 ●先着30名●電話、ファックスまたはEメールで受付
- 8(日)、15(日) **動物公園うらがわたんけん隊** ●13:30～14:00 (整理券配布13:15)
仙台市八木山動物公園 ●定員 各日20名(先着)
- 8(日)、22(日) **たのしい地底の森教室「英語解説ツアー」(3/8)・
「遺跡保存の裏話」(3/22)** ●13:30～14:30
地底の森ミュージアム
- 13(金) **移動天文台～ベガ号で星空ウォッチング～** ●榴岡公園
仙台市天文台
- 14(土)～18(水) **第3回国連防災世界会議関連展示
「東日本大震災を伝えつづける」(仮)**
●川内萩ホール、東北大学理学部自然史標本館(総合学術博物館)の2会場にて開催
東北大学総合学術博物館
- 14(土)～18(水) **MRシステムによる3次元震災遺構の展示実演や、東北大学、
警察、消防、自衛隊等、さまざまな分野の救援・救助活動や研究
に関する解説パネルを展示します。**
- 14(土)～18(水) **せんだいデザインリーグ卒業設計日本一決定戦2003-2015
活動記録**
せんだいメディアテーク
- 14(土)～18(水) **東日本大震災とミュージアム** ●せんだいメディアテーク2階
SMMA企画
- 14(土)～18(水) **平成24年度に実施した東日本大震災におけるミュージアムの
被災状況と復旧プロセスに関する調査をもとに、その後の追跡
調査や各館による報告資料を通してみてきた、ミュージアム
の被災と、復旧・復興過程における地域社会との関係について
パネル展示で紹介いたします。**
- 17(火)～6/17(水) **生誕120年記念 デザイナー芹沢銈介の世界展(巡回)**
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
- 22(日) **大人の科学教室
「歴史の中のサイエンス」(要申込)** ●中学生以上●3月10日〆切
スリーエム仙台市科学館 ●定員20名程度
- 28(土) **ワークショップ
「星座を立体的に見てみる」(要申込)** ●小学生(高学年)対象
仙台市天文台 ●3月22日〆切 ●定員5名
- 未頃～ **再オープン/旬の常設展2015春**
仙台市博物館

4月

- 24(金)～6/21(日) **東日本大震災復興祈念特別展
「国宝 吉祥天女が舞い降りた!～奈良 薬師寺 未来への祈り～」**
仙台市博物館
- 25(土)～6月下旬 **特別展「どくとるマンボウ代記 北杜夫展」(仮称)**
仙台文学館
- 25(土)、26(日)、29(水・祝) **ゴールデンウィークおもしろ昔たいけん(第1部)**
仙台市歴史民俗資料館
- 25(土)～6/14(日) **企画展「暮らしの中のリサイクル～明治・大正・昭和～」**
仙台市歴史民俗資料館

5月

- 2(土)～5(火・祝) **ゴールデンウィークおもしろ昔たいけん(第2部)**
仙台市歴史民俗資料館
- 2(土)～7/26(日) **杉戸洋展**
宮城県美術館
- 3(日・祝)～5(火・祝) **ゴールデンウィークイベント**
仙台市八木山動物公園

01 スリーエム仙台市科学館

所在地
〒981-0903
仙台市青葉区台原森林公園4-1

開館時間
9:00～16:45(入館は16:00まで)

休館日
月曜(祝日は開館)、祝日の翌日、
第4木曜(12月を除く)、
12/28-1/4

お問合せ
☎022-276-2201

ホームページ
<http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/>



05 仙台市博物館

所在地
〒980-0862
仙台市青葉区川内26

開館時間
9:00～16:45(入館は16:15まで)

休館日
館内改修工事および国連防災
世界会議開催にともない、3月末
(予定)まで休館中
月曜(祝日は開館)、祝日の翌日、
12/28-1/4

お問合せ
☎022-225-3074

ホームページ
<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/>



09 せんだいメディアテーク

所在地
〒980-0821
仙台市青葉区春日町2-1

開館時間
9:00～22:00
※一部サービスは時間が異なります。

休館日
第4木曜(12月を除く)、
12/29-1/3

お問合せ
☎022-713-4483

ホームページ
<http://www.smt.jp/>



02 仙台市縄文の森広場

所在地
〒982-0815
仙台市太白区山田上ノ台町10-1

開館時間
9:00～16:45(入館は16:15まで、
体験活動の受付は9:00～12:00、
12:30～15:00)

休館日
月曜(祝日は開館)、祝日の翌日、
第4木曜(12月を除く)、12/28-1/4

お問合せ
☎022-307-5665

ホームページ
<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/jyomon/>



06 仙台市八木山動物公園

所在地
〒982-0801
仙台市太白区八木山本町1-43

開館時間
3～10月9:00～16:45(入館は
16:00まで)、11～2月9:00～16:00
(入館は15:00まで)

休館日
月曜(祝日は開館、翌日休館)、
12/28-1/1

お問合せ
☎022-229-0631

ホームページ
<http://www.city.sendai.jp/kensetsu/yagiama/>



10 東北大学総合学術博物館

所在地
〒980-8578
仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

開館時間
10:00～16:00

休館日
月曜(祝日は開館、翌日休館)、
お盆、8月最終日曜、年末年始

お問合せ
☎022-795-6767

ホームページ
<http://www.museum.tohoku.ac.jp/>



03 仙台市天文台

所在地
〒989-3123
仙台市青葉区錦ヶ丘9-29-32

開館時間
9:00～17:00(土曜日は21:30まで、
展示室は17:00まで)
最終入館は閉館30分前まで

休館日
水曜・第3火曜(祝日は開館、翌日休館)、
年末年始*学校長期休業中は開館

お問合せ
☎022-391-1300

ホームページ
<http://www.sendai-astro.jp/>



07 仙台市歴史民俗資料館

所在地
〒983-0842
仙台市宮城野区五輪1-3-7
(榴岡公園内)

開館時間
9:00～16:45(入館は16:15まで)

休館日
月曜(祝日は開館)、祝日の翌日、
第4木曜(12月を除く)、
12/28-1/4

お問合せ
☎022-295-3956

ホームページ
<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/rekimin/>



11 東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館

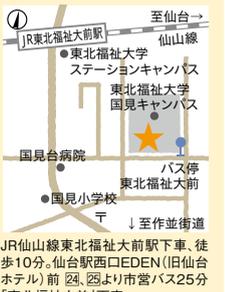
所在地
〒981-8522
仙台市青葉区国見1-8-1

開館時間
10:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日
日曜・祝日、展示替え期間、
入学試験日

お問合せ
☎022-717-3318

ホームページ
<http://www.tfu.ac.jp/kogeikan/>



04 地底の森ミュージアム (仙台市富沢遺跡保存館)

所在地
〒982-0012
仙台市太白区長町南4-3-1

開館時間
9:00～16:45(入館は16:15まで)

休館日
月曜(祝日は開館)、祝日の翌日、
第4木曜(12月を除く)、
12/28-1/4

お問合せ
☎022-246-9153

ホームページ
<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/chiteinomori/>



08 仙台文学館

所在地
〒981-0902
仙台市青葉区北根2-7-1

開館時間
9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日
月曜(祝日は開館)、祝日の翌日、
第4木曜(12月を除く)、
12/28-1/4

お問合せ
☎022-271-3020

ホームページ
<http://www.sendai-lit.jp/>



12 宮城県美術館

所在地
〒980-0861
仙台市青葉区川内元支倉34-1

開館時間
9:30～17:00(発券は16:30まで)

休館日
月曜(祝日は開館、翌日休館)、
年末年始

お問合せ
☎022-221-2111

ホームページ
<http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>



・スマホアプリ「ミュージアムに行こう」ができました

「ミュージアムに行こう」は、SMMA参加12館のイベント情報が見られるアプリです。アプリでは各館のイベントをリストやカレンダー表示で見たり、気になったイベントや展覧会の通知を受けることができます。ぜひ仙台のミュージアムに行くためのお役立ちツールとしてご利用ください。



・お問い合わせ

仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアテーク内
☎022-713-4483
(9:00～17:00、土日祝休み)
2015年1月23日 仙台・宮城ミュージアムアライアンス発行